

夏のことばもワークショップ

2025年8月2日(土)、8月3日(日)
トーキョーアートアンドスペースレジデンス

なんにもしないは無駄なこと？

はく ぐう てき きょく せつ 積極的空白

なんにもしないをかたちにする

時間 10:00 ↓ 12:30

対象 小学3年生以上(大人も歓迎)

※小学生は保護者が付き添いのうえご参加ください。

定員 各回10名程度 参加費 無料

持ち物 タオル、作品を持ち帰る袋 ※汚れてもよい服でお越しください。

※30分程度屋外での作業があります。熱中症対策として帽子や飲み物をお持ちください。

申込方法 事前予約制・抽選 [申込受付期間 6月19日(木)ー7月2日(水)]

主催 トーキョーアートアンドスペース(公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館) 後援 墨田区

ゆき たい 木 裕 里

Tokyo
Arts and Space

つながり TOKAS

2025年のトーキョーアーツアンドスペース(TOKAS)「夏のこどもワークショップ」は、アーティストの對木裕里さんを講師に迎え、彫刻のプログラムを実施します。みなさんは、「彫刻をつくる」ということにどのようなイメージを持っていますか？このワークショップでは、石膏という素材を使って「なんにもしない」で作品をつくってみます。なんにもしないからこそできるかたち、心に浮かぶことをじっくり眺めてみましょう。

作家の言葉

わたしの彫刻に用途はなく、人によっては意味も感じないかもしれません。しかし、なんだかわからないものを目の前に置くことで、そこに本来あったもの、あるいは隠れていたことが浮かび上がることがあります。そうやって「空白」を抱えながら立ち上がるものがわたしにとっての彫刻です。今回は直接触れずに(なんにもせずに)かたちをつくることをしてみたいと思います。そこに現れたものにはやっぱり用途も意味もありますが、そこにはあなただけの「空白」があります。[對木裕里]

PROFILE

1987年神奈川県生まれ。東京都を拠点に活動。2011年京都市立芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻修了。主な展覧会に「Fill & Light」(師岡製作所、さいたま、2024)「ばらばらの速度」(横浜市民ギャラリーあざみ野、2021)、「手のたびではいいおいで」(神奈川県民ホール、横浜、2021)など。これまでに「分身彫刻と海を見よう！」(横須賀美術館、神奈川、2024)、「美術館にお手を触れよう！景色のなかのわたしたちの手」(国立新美術館、東京、2023)などのワークショップを開催。

申込方法

受付期間：2025年6月19日(木)～7月2日(水)
※抽選結果は7月9日(水)頃までにお知らせします。

TOKASウェブサイトの「積極的空白 なんにもしないをかたちにする」ページにある予約フォームに必要事項を入力のうちお申込みください。

※予約受付後すぐに、予約確認メールを配信します(自動返信)。24時間以上過ぎても確認メールが来ない場合は、お問い合わせのメールアドレスまでご連絡ください。

会場

トーキョーアーツアンドスペースレジデンス
住所：130-0023 東京都墨田区立川2-14-7-1F
TEL：03-5625-4433(当日のみ)

菊川駅(都営地下鉄新宿線)A1出口より徒歩9分

森下駅(都営地下鉄新宿線・大江戸線)A5出口より徒歩11分

両国駅(JR総武線：東口/都営地下鉄大江戸線：A5出口)より徒歩15分

※駐車場はございませんので、お車でのご来館はご遠慮ください。

お問い合わせ

トーキョーアーツアンドスペースオフィス

住所：135-0022 東京都江東区三好4-1-1

東京都現代美術館内

TEL：03-5245-1142 ※平日のみ(10:00-18:00)

Email：workshop2025@tokyoartsandspace.jp

※ワークショップ当日は会場までお問い合わせください。

www.tokyoartsandspace.jp/

